

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年4月15日】第204号



新学期です

4月8日(月), 新学期が始まりました。玄関では, 学年が変わったため自分の靴棚の位置がすぐに見つからない子, 出席番号が変わったのに元の番号のところにしまい混乱を招く子など新学期ならではの楽しい混乱がありました。1年生も, 入学式で持参した上履きと運動靴がすでに入っているの, 制靴を入れるところがありませんなどと訴えてくる子どもがいて, これも新入生のかわいらしい様子でした。

始業式では, 5学年の子どもたちが並んだ体育館に, 1年生が拍手に迎えられて入ってきました。農大稲花小ではじめて, 1年生から6年生までがそろった始業式となり, 感慨深いものがありました。始業式にあたり, 友だちを大切にすること, 家族や先生を大切にすること, 学校の生活を大切にすること, そうすることが自分を大切にすることでもあると講話をいたしました。加えて, 1学期の, そして本年度の自分の目標をもち, その実現のために努力するようにと励ましました。子どもたちはしっかりと耳を傾けていました。合わせて, 担任団の紹介にはじまり, 始業式に参加した教員の紹介もいたしました。

農大稲花小, その教育やそれを担う教員への信頼の上にお子様を毎日, 学校へと送りだしてくださる保護者の皆様の期待にお応えできるよう, また, 子どもたちが楽しく学べる学校生活になるよう, 教職員もそろって, 子どもたちを大切に, 毎日を過ごしてまいります。

荒天の2日目

4月9日(火)の朝は, 驚くような荒天となりました。東京農大世田谷キャンパス内を通る子どもたちの様子を見に行きますと, 強風で傘が壊れたり, 壊れそうになる子どもが続出していました。中にはこの大雨の中, 傘を持たずに登校している子どももいて, 驚きましたが, ご家庭で朝の様子や, 傘の様子を確認していただきますようお願いいたします。またこの日, バスをはじめとする公共交通機関も混雑したり, 到着時間の遅れがあったりしました。寝坊など生活の乱れによる遅刻は厳禁ですが, 子どもたちにはどんな時にも安全第一で登校するよう, ご家庭でもお話しください。

初日の給食

農大稲花小では, 新年度初日の給食はカレーライス, 副菜, デザート, 牛乳というメニューが定着しています。給食のカレーといっても, 農大稲花小の給食のカレーは, 辛すぎず甘すぎず, そしてスパイスの効いた本格的な味です。またデザートも, 東京農大の卒業生(校友といいます)が南米で地域振興のために栽培を始めたカムカムという熱帯果実のジュースを使ったもので, 東京農大の小学校らしいものとなっています。

1年生の教室では, 6年生の当番が, 給食の配膳を手伝いました。てきぱきと上手に盛り付ける

上級生の姿は、とても頼りがいがあり素敵です。1年生も、早く盛り付けができるようになりたいと思ったのではないのでしょうか。初日から給食を食べ、6時間目までしっかり教室で過ごした1年生です。給食の感想はどうだったのでしょうか。

桜を見に行く

荒天の日もありましたが、今年の桜は新学期になっても見ごろが続いていました。4月10日(水)には4年生が理科の授業で、11日(木)には6年生が図画工作の授業で、東京農大世田谷キャンパスの桜を観察したり、スケッチをしたりするために出かけていきました。世田谷キャンパスの住所は世田谷区桜丘、農大稲花小の住所は世田谷区桜です。東京農業大学第一高等学校には春まだ浅い時期に開花する河津桜、農大稲花小グランド脇の舞姫、大学キャンパスにも冬に咲く品種からはじまり、ソメイヨシノ、ソメイヨシノの後継品種とされるジンダイアケボノなどが植えられています。

キャンパス見学

4月12日(金)、1年生は東京農業大学世田谷キャンパスを訪問しました。経堂門から桜吹雪に迎えられた子どもたち、法人のご理解をいただいて、アカデミアセンターの屋上に入れていただきました。

子どもたちが屋上から眼下の農大稲花小を見ると、なんと、先生方が手や黄色い旗を振ってくださっているのです。子どもたちは大興奮でヤッホー ヤッホーと何回も先生方に向けて呼びかけていました。屋上からは、経堂駅や小田急線、足元はサッカーの練習をしているグランド、温室、体育館、さらに、場所を変えると馬事公苑、用賀や武蔵小杉方面、足元にはサイエンスポート、国際センター、中庭などを見ることができます。景色だけでなく屋上に設置されている太陽光パネル、屋上庭園、1階までを明るくする集光機なども見ました。中庭では、メタセコイアの大きな木を眺め、森林浴気分で深呼吸をしたり、シイタケ栽培の様子を見たりしました。

作業中の大学生に声をかけて年齢が22歳だと聞くと、大人だね！うれしそうに言う子どもたち。一方、大学生もかわいい！と、制服姿の1年生の子どもたちとの出会いを楽しんでくれました。小学生から大学生までがそろそろ学園らしい風景といえるでしょう。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子